
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 158 号(2026.3.5)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 158 号をお届けします。

--第 158 号の目次-----

1 活動組織の活動紹介

☆^{あさない}浅内地区広域協定運営委員会（^{のしろ}秋田県能代市）☆

地域内での防災意識の高まりから、田んぼダムを地域一体で取り組むことにより、洪水被害の軽減を図っています！

☆^{かさごう}笠郷地区環境保全対策協議会（^{ようろう}岐阜県養老町）☆

泥上げや草刈り等の共同活動に、自治会や子供会、PTA など多様な団体が参加しています！
また、活動写真のパネルやのぼり旗を用いてパレードし、活動内容を周知しています！

2 女性役員へのインタビュー

☆^{くしま}住み良い地域環境保全協議会（宮崎県串間市）☆

改良区・活動組織の代表として「自ら動くこと」を心がけることで、大きな水路の泥上げなどの活動に率先して取り組んでいます！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆^{うけ ちみき}鶺毛・靱木大地の会（^{ひゅうが}宮崎県日向市）☆

地域のイベントで活動内容を紹介し、来場者に多面的機能支払交付金の活動をPRすることで、理解の醸成や様々な組織の活動参画に繋がっています！

4 令和7年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰が行われました！

【編集後記】

■ 1 活動組織の活動紹介(1) ～^{あさひ}浅内地区広域協定運営委員会(秋田県^{のしろ}能代市)～ ■

～ 地区概要 ～

本地区は秋田県の北西部日本海沿岸部に位置し、比較的平坦な水田地域となっており、水はけのよい沿岸部の砂丘地では、特産品である白神ネギの栽培が盛んに行われています。地区内の約半数の250haで、ほ場整備が完了しています。

活動範囲は、田 508.7ha、畑 84.3ha、農道 80.2km、水路 141.9kmです。



各集落代表の話し合いの様子

～ 主な取組 ～

◎ 本組織は、平成 19 年度から4地区で構成された広域活動組織として、自治会、子供会、土地改良区が構成員となり活動していますが、共同活動の参加者の不足等が課題となっています。そこで、トラクターモアを活用した草刈りを行うことにより、少人数でも効率的な活動ができるほか、安全性の向上にもつながっています。



草刈りの様子

◎ 近年、大雨による被害が多数発生し、地域内での防災意識が高まっていることから、田んぼダム加算による水位調整板の設置等を約 180ha で一体的に取り組んでおり、洪水被害の軽減が期待されています。



田んぼダムに取り組む様子

◎ 今後は、共同活動の担い手となる後継者の育成にも力を入れていく必要性を感じています。地区によって実情は様々ですが、今後も地域の活性化に繋がる活動に取り組んでいきたいです。

【浅内地区広域協定運営委員会】



施設回りのゴミ拾いの様子

編集担当 SDGs コメント 

田んぼダムの取組は、地域の農地を守るだけでなく、気候変動による豪雨被害の軽減にもつながるため、目標 13「気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する。」に貢献しています。

また、地域が一体となって草刈り等地域の保安全管理を行うことは、目標 2「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。

これからも、地域の力を結集した防災・減災の取組がさらに広がることを応援します！



■ 1 活動組織の活動紹介(2) ～^{かさごう}笠郷地区環境保全対策協議会(岐阜県^{ようろう}養老町)～ ■

～ 地区概要 ～

岐阜県養老町は県西部の西濃地域に位置し、西に連なる養老山脈と、北を牧田川、東に揖斐川に挟まれた海拔3～7メートルの低湿地帯の田園風景が広がる地域です。

当組織は平成19年度より活動しており、活動範囲は、田451.16ha、畑25.26ha、水路144.0km、農道137.0kmとなっています。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織では土地改良区や農事組合法人はもとより、5集落の自治会や育成会(子供会)、JAやJAの女性部・青年部、小・中学校やPTA、消防団などの笠郷地区すべての団体が構成員として泥上げや草刈り、地域清掃等の何らかの共同活動に参加しています。
- ◎ 町民運動会では広報活動として、活動写真のパネルやのぼり旗を掲げてグラウンドをパレードしたり、農業体験で収穫されたコメの贈呈式を行ったりして、多面的事業の活動内容を地域住民に広く知ってもらうようにしています。クリーンの日(地域清掃)には約1,400名が参加しました。
- ◎ 資源向上活動では、水路の補修を中心に行っており、工事用資材は新品に加えてリサイクル品も活用することで、工事の距離が少しでも延長できるように努力しています。
- ◎ 農業の歴史や楽しさなどを農業体験などを通して子供たちに体験してもらい、一人でも多くの子供たちが次世代の農業を担う者として育ててほしいと願っています。

【笠郷地区環境保全対策協議会 会長 小野 和孝】



農地維持活動



農業体験(田植え・稲刈り)



町民運動会でパレード、お米贈呈式



水路補修工事 クリーンの日
(地域清掃)

編集担当 SDGs コメント

農業の歴史や楽しさなどを農業体験などを通して子供たちに体験してもらうことは、目標 4「地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。」に貢献しています。また、地区すべての団体が泥上げや草刈り、地域清掃等の何らかの共同活動に参加していることは、目標 2「持続可能な農業生産を支える」や目標 11「住み続けられる地域をつくる。」に貢献しています。今後もこのような活動を通じ、地域のよりよい農業環境が維持されることを応援しています。



■2 女性役員へのインタビュー

～住み良い地域環境保全協議会(串間市)^{くしま}～ ■

組織の概要

活動範囲：田 14,079a 畑 532a
対象施設：水路 30.9km 農道 20.3km
活動開始時期：平成19年度



住み良い地域環境保全協議会
代表の奥村さん

ほ場整備予定地 大島堰北部地区
(背景)

～ インタビュー ～

- 話し手：奥村 千扶子さん
- 聞き手：宮崎県農政水産部農村振興局農村整備課 友森、稲田
- 実施日：令和7年12月10日
- 実施場所：大島堰土地改良区

Q：多面的機能支払の活動を始めたきっかけは何でしたか？

A：「農地・水・環境保全向上対策制度」のスタート当時、ほ場整備を計画していた塩屋原地区の水路の草刈り・泥上げや長寿命化を実施するため、活動を開始しました。その後、他の地区も巻き込み、現在は6つの地区から成り立っています。



共同活動（草刈り）の様子

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありましたか？

A：組織立ち上げ時から役員を引き受けており、当時から土地改良区の役員も勤めていたので、役員を引き受けることに抵抗はありませんでした。ただ、当時女性役員は私1人だけだったため、他地区の役員の賛同が得られにくいこともありました。しかし、率先して自ら動くことで、今では突発的な集まりや頼みごとにも役員や農家の方々にご協力いただいています。皆様の意思決定が早く、大変助かっています。



総会の様子

Q：組織運営で苦労されたことはありますか？

A：現在もそうですが、とにかく人がいないことです。ほ場整備が1地区終わりましたが、離農し、担い手に農地を譲る方もいます。担い手も営農に忙しいため活動に参加できず、高齢化も進む中、小規模農家が中心となって活動している状況です。また、施設の老朽箇所が多い中、長寿命化の予算が限られるため、優先順位をつけて何とか対応しています。



用水路のU字溝取り替え

Q：代表として心がけていることを教えてください。

A：前述のとおり「自ら動くこと」です。口先だけの代表では誰も動きません。「女性だから」ではなく、改良区・活動組織の代表として責任もって行動することを心がけています。大きな水路の泥上げは、水路内に降りるのも一苦労ですが、腰まで水に浸かりながらの作業は男女関わらず大変です。なかなか入りたがらない構成員の中で、最初に水路に入るのが実は私です。そうすると皆さん降りてくるので、泥上げ作業と一緒に頑張ります。また、土水路の管理は誰もやりたがらないので、U字溝を入れていこうと働きかけ、少しずつ長寿命化による整備を進めています。

Q：本交付金についてどう考えていますか？

A：草刈りや泥上げ、施設の補修・更新などの基礎的な農地維持・長寿命化活動による地区の現状維持は、本交付金がなければできませんでした。1つの地区だけでの取組は困難なので、他地区からも若手と呼んでいます。地元や土地改良区から日当は出せません。交付金があるからこそ人が集まり、複数人での作業を要する活動が実施でき、助かっています。

Q：そのような活動を行って良かったと感じることは？

A：もし活動ができていなければ、守るべき農地や水路は管理ができず、農村を維持できなかったと思います。現状もあまり良いとはいえませんが、地区内外で力を合わせてこれからも地区を守っていきたいです。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：ほ場整備が終わった後処理や次のほ場整備も控えています。役員引継ぎの時期が見えてきました。自ら動く姿を見て「何をすればよいのか」を知ってもらい、地区をこれからも守っていくための後継者育成に努めたいです。

【宮崎県農村整備課 稲田】



親子会によるコスモス鑑賞

編集担当 SDGs コメント

住み良い地域環境保全協議会の奥村代表に取材し、次世代に繋ぐ農地や水路の施設を守るため、本交付金がいかに重要視されているかを実感しました。

開水路の泥上げや草刈り、施設の補修・更新を行うことは、SDGsの目標9「災害に強いインフラづくりとそのための技術の開発に貢献する。」や目標13「気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する。」に貢献しています。

また、奥村代表は「日本のひなた水土里ネット女子会」の会長に就任されたように、本県農業の女性活躍に大きく寄与しております。その姿勢は、目標5「女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる。」を体現しているように思います。

住み良い地域環境保全協議会の保全管理の尽力により、農地や水路、農道などの資源が守られております。人手不足という厳しい状況ですが、今後とも、地区内外の協力体制により、地区が守られていくことを心から願います。



■3 活動組織の活動の啓発・普及紹介 ～^{うけもみき}鵜毛・^{ひゅうが}杣木大地の会(宮崎県日向市)～

イベントでのPR活動の概要

- ◇ 地域で作った米、野菜などを販売するイベントを「農産物ふえあー」と名付けて、多面的組織・土地改良区・集落営農組合が共同で毎年秋に開催しています。
- ◇ この「農産物ふえあー」で一年を通じた活動内容や写真をパネルに貼って展示しています。地区内外の来場者に多面的機能支払交付金の活動をPRし、地域活動への理解醸成や自治会や女性会、学校PTAの活動参画に繋げています。

～工夫しているポイント～

「鵜毛・杣木大地の会」では、地域の皆さんに活動を身近に感じてもらえるよう、イベントでのPR活動に工夫を凝らしています。

○ポイント1：会場周辺の草刈り・コスモスを植栽

「農産物ふえあー」の開催日に合わせて、来場者に楽しんでもらえるよう、会場周辺の草刈りや、子どもたちとコスモスの種まきを、多面の活動として実施しています。コスモス畑は毎年会場の目印にもなっています。

農産物ふえあーの様子



工夫ポイント！ 会場周辺の草刈り・コスモスを植栽



○ポイント2：ちらしで紹介

地域の皆さんに知ってもらうため「農産物ふえあー」のちらしを配布しています。「大地の会」は「鵜毛・杵木大地の会」の愛称で、コスモス畑を目印にしています。

工夫ポイント！ ちらしで紹介



「UME」の由来は上記のとおり
鵜毛杵木集落営農組合で
"うめえ"と"夢"を掛けています
「大地の会」は鵜毛・杵木の多
面的機能支払交付金活動組
織の愛称です



○ポイント3：写真で伝える楽しさ

活動の様子をたくさんの写真で紹介することで、参加した方には振り返りやすく、まだ参加していない方にも活動の楽しさが伝わるよう工夫しています。スタッフが来場者に活動を紹介することで、より多面の活動を知ってもらいます。

工夫ポイント！ 写真で伝える楽しさ



スタッフは「大地の会」Tシャツを着用しています！

■4 令和7年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰が行われました！■

令和8年2月12日（木）、松山市立子規記念博物館にて開催された「多面的機能支払中国四国シンポジウム in えひめ」において、令和7年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰を実施し、最優秀賞の表彰・事例発表のほか、基調講演やパネルディスカッションも行われました。

事例発表では、最優秀賞受賞2組織から、「親子で田植えイベント」という食農体験学習や、高齢者では作業困難な法面等の草刈りを実施する「草刈り支援隊」など特色ある取組が紹介されました。

中国四国農政局では、水路や農道等の地域資源の保全管理等、農業の有する多面的機能の発揮を促進する本事業の推進や、関係者への優良事例の横展開を目的に、中国四国農政局管内で取り組まれている本交付金の活動の中から優秀な取組を行う組織を表彰しています。

令和7年度の最優秀賞には、四王寺地区資源保全会（鳥取県倉吉市）、「ツルの郷を守る会（山口県周南市）」の2組織が、優秀賞には、高松地区農地保全協議会（島根県出雲市）、大庭地区多面的機能支払交付金活動組織（岡山県真庭市）、「千代田広域協定運営委員会（広島県北広島町）」、萩原地区資源保全協議会（徳島県鳴門市）、「天王里山クラブ（香川県さぬき市）」、榎谷地域資源保全会（愛媛県大洲市）、「佐田保全会（高知県四万十市）」の7組織が選ばれました。



【表彰状授与（鳥取県）】



【表彰状授与（山口県）】

○ 受賞組織の概要及び一覧は中国四国農政局のHPをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kankyohozen/index.html>

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは！いかがお過ごしでしょうか。

今回の記事では、自治会や子供会などの多様な団体の参画や、多面のPR活動などを御紹介しました。非農家の方にも多面の活動を知ってもらうために、活動組織独自の魅力的な方法で広報に取り組んでいることがお分かりいただけたかと思います。農業の担い手が減少している中でも、地域の共同活動が今後も維持されるよう、多面の活動が積極的に周知され、活動に興味を持つ人が少しでも増えればと思います。

今回も農村ふるさと保全通信をお読みいただきありがとうございました。次回の投稿もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp



高めよう 地域協働の力！

----- 【発行】 -----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：大澤、土田）
TEL：03-3502-8111（内線 85640）